

1 部

学習サポート

6 / 13～8 / 9 の各種申込締切一覧

通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着をお願いいたします。

(注) 備考欄の『レポート課題集』参照ページについては、『試験・スクーリング 情報ブック2012』1部に記載の変更内容も併せてご確認ください。

■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
7月科目修了試験	レポート・ 申込みハガキ	7月12日(木)
夏期スクーリングⅡ (7/14～7/22)	申込みハガキ	6月21日(木)
夏期スクーリングⅢ (7/26～8/3)	申込みハガキ	7月5日(木)
夏期スクーリングⅣ (8/4～8/16)	申込みハガキ	7月12日(木)
夏期スクーリングⅤ (8/17～9/9)	申込みハガキ	7月26日(木)
オンデマンド・スクーリング	申込みメール	6月13日(水)正午 ほか本冊子 p. 46 表参照
追加履修夏期分申込み	巻末申込書	6月20日(水)

	受付日
レポート (レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)	6月22日(金) 7月2日(月) 7月12日(木) 7月20日(金) 7月31日(火) 8月9日(木)

※「スクーリング受講者専用別レポート」は、受講後1カ月以内必着です。

■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締切日	備考
★■社会福祉援助技術演習A・◆演習I スクーリング受講申込用紙 (『With』82号巻末) + 1単位めレポート (スクーリング事前レポート) 受講条件のためのレポート	7/28～8/21 受講希望者 →7月15日(日) <u>※ただし、定員に 余裕のある会場 でのみ受講可。</u>	(注) 『レポート課題集 2011(1・2年次)』 「★■演習A」 p.190～194 「◆演習I」 p.125～131 ※『レポート課題 集2012暫定版 社会福祉編』所 持者は p.108～ 113
★社会福祉援助技術演習C (C-1+C-2) スクーリング および 1・2単位めレポート	7月受講希望者 →7月2日(月) <u>※実習免除者・科 目等履修生での 実習希望者対象</u>	(注) 『レポート課題集 2011(3・4年次)』 ★指導B p.138～142 ★演習C p.126～133 ◆指導 p.59～64
★社会福祉援助技術実習指導B (B-3) +★社会福祉援助技術演習C (C-2) スクーリング受講申込み ◆社会福祉援助技術現場実習指導(事後) スクーリング受講申込み	9～10月受講希望者 →7月13日(金)	

■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締 切 日	備 考
精神保健福祉援助実習 課題3-② (実習事後レポート)	7/21・22受講希望者 →6月27日(水)	(注) 『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 83～97

※『レポート課題集2011(3・4年次)』p. 83～97精神保健福祉援助実習の変更点は、
該当者に3月中旬に文書にて郵送案内済み。

■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締 切 日	備 考
介護実習事前事後指導 スクーリング申込み (『With』82号巻末「介護実習 登録カード」を提出)	7/14～16受講希望者 →6月21日(木)	(注) 『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 188～195
介護実習事前事後指導 事前レポート	7/16～18受講希望者 →7月4日(水)	※『レポート課題 集2012暫定版 心理・教職編』 所持者はp. 135 ～142
教育実習・障害者(児)教育実習 誓約書・健康診断書(・個人調 査票のコピー)提出	8月実習開始者 →6月15日(金) 9月実習開始者 →7月15日(日)	※事前指導受講済 者のみ対象
障害者(児)教育実習の事前・事後指導 事前指導スクーリング受講免除 のための書類提出	7/28・29 受講免除希望者 →6月22日(金)	(注) 『レポート課題集 2011(3・4年次)』 p. 283～288 ※『レポート課題 集2012暫定版 心理・教職編』 所持者はp. 209 ～214

	締 切 日	備 考
障害者(児)教育実習の事前・事後指導 事前指導スクーリング申込み	7/28・29受講希望者 →7月5日(木)	(注)
障害者(児)教育実習の事前・事後指導 1単位めレポート	7/28・29受講済み で10月実習開始者 →8月6日(月) その他の方 → <u>8月9日(木)午前中</u> ※『試験・スクーリ ング 情報ブッ ク2012』より変更	『レポート 課題集 2011(3・4年次)』 p. 283～288 ※『レポート 課題 集2012暫定版 心理・教職編』 所持者は p. 209 ～214

■その他

●オンデマンド・スクーリング受講者

試験レポート提出締切 6月15日(金)ほか

※『With』82・83号・本冊子 5部表参照

●卒業研究

- ・提出締切(社会福祉学科・社会教育学科) 6月18日(月)
- ・提出締切(福祉心理学科) 7月31日(火)
- ・福祉心理学科2回目ガイダンス申込締切 7月2日(月)

●10月生進級予定者

- ・転学科希望届提出締切 7月20日(金)

●9月卒業希望者

- ・初回レポート提出期限 7月20日(金)

支援者にとっての自己肯定感

准教授 志村 祐子

大震災から1年有余経ち、学生の皆様も少しずつ勉強への気持ちが向いてきていることと思います。ちょうど昨年の今頃、震災で自宅アパートが被災し教科書などをなくされながら、がんばって実習をなされた方がいらっしゃいました。あの状況の中で、実習に気持ちを切り替え集中していくことは本当に大変だったことと思います。そうしてやり遂げたことには自信を持っていていただきたいと心から願っております。

震災当時、被災者に対する支援は、支援者自身も被災者であることがほとんどで、自分自身に受けた被災のできごと、その痛みを伴う気持ちに向き合うことは後回しにして専門職の方々は支援にあたっていました。そうしたがんばりがこの頃になって様々な形で表れてきています。表れ方には程度の差があります。震災に限らず、対人援助の現場では、様々な出来事に会います。そして大変ストレスを感じることもあります。そうしたときに十分に自分の気持ちの整理をしていくことは大変大切なことです。

そうしたときの気持ちの整理をしていく上で大切なことについて、少し述べていきたいと思います。

まず、自分に気づくこと。自分がどれだけストレス状態にあるのか、どれだけ疲れているのか等に気づくことです。気づくことでその状態から抜け出すための、あるいは解消する手立てが考えられます。そして、気づいたときにそのことに対し素直に向き合い、対処することです。例えば、「疲れているな」「ちょっとがんばりすぎているな」と気づいた時に、きちんと休養すること等の対処ができることが必要です。さらに、もしその状態が、自分だけでは抱えきれない時には信頼できる人にきちんと相談することも大切なことです。そうしたことができるかできないかが、前述した程

度の差になって表れてくるのです。とかく支援者は「まだ大丈夫」「このくらいなら」「みんなががんばっているのに自分だけ休んだら申し訳ない」等と思いがちで、ついがんばりすぎてしまいます。そうなると、症状として体の方がSOSを出してくるようになります。体調不良になってやっと休むことができるのです。そこまで行ってしまうと回復に時間がかかってしまいます。

そうならないためにも早めに自分の状態に気づいてあげることが必要になります。

自分に気づけるための前提として、自分をどれだけ大切に思っているかという、いわゆる自己肯定感があることです。「自分を認める力」～過大評価・過小評価をせず良いところも、できていないところも含めて等身大の自分を認めていくこと～があることは、第三者に自分のことを相談できることにもつながります。支援者自身が自分のことに対し、上手に・適切にSOSを出せることは、自分が支援者となったときに、対象となる方々のSOSをきちんと受けとめることができること、相手のストレングスに気づけることにもかかわってきます。ひいては、対象者との適切な距離を保ちながら支援していくことができるという、支援者としての基本的かわり方にもつながってきます。

是非、常日頃から自分のできているところ、良いところを見つけて認めていって下さい。

スクーリング・アンケートから (1)

スクーリング受講者のアンケートから授業の感想を抜粋しました。p. 79～80にも掲載されています。

【社会福祉援助技術総論】

- ・今回のスクーリングは、援助者として態度、倫理を深く学べたと感じます。私自身病院で勤務していますが、援助者としてとても活用できると思います。“利用者主体”を軸に、今後も頑張りたいと思います。
- ・社会福祉士の果たす役割の範囲の広さと、自身の知識が必要であることを感じた。さらに気づきの大切さと気づきに至る完成もみがいに行かなければならないと思った。
- ・ソーシャルワークとはどのようなものか、意識しておくべき点は何なのかについて理解することができました。
- ・現在私たちが利用している社会制度は、どれひとつポンと出てきたものではなく、長い歴史の中で作られてきたものということを改めて実感させられました。
- ・現役の学生の時にはなかった制度、法律がたくさんあって、日々現場で仕事に追われていると何となくで終わってしまいがちだが、ここでじっくり何故その法律が制定に至ったかが勉強できてよかったです。
- ・相手に負担をかけさせないアセスメント方法（水を入れてもらう、トイレを貸してもらう）がとても印象に残った。
- ・あらためてソーシャルワークをする上で重要なことの確認ができた。日本と欧米のこの分野での歴史の違いにおどろいた。
- ・専門用語や時代の流れをきちんとおさえておくことが重要だと実感。もう1度自分なりに整理し、ノートにまとめていくことが必要だと思った。
- ・自己決定ができない利用者について、自己決定に代わる方法、意思のくみとりについては、今後の大きな課題と感じた。